日時: 平成 22年10月9日16時00分から18時30分

場所:慶應義塾大学 研究棟1階AB会議室

## 日本パーソナリティ心理学会

## 第19回理事会・第99回常任理事会合同会議

出席:浮谷秀一理事長、堀毛一也副理事長、二宮克美常任理事、渡邊芳之常任理事、中村真常任理事、 藤田主一常任理事、小塩真司常任理事、山崎晴美常任理事、向田久美子常任理事、青柳肇理事、森津 太子理事、坂元章理事、松田浩平監事

安藤寿康大会準備委員長

事務局長:加藤司

委任:松田英子(理事長) 尾見康博(理事長) 川野健治(理事長) 菅原ますみ(理事長) 菅原健介(理事長) 岡村一成(藤田) 手島茂樹(理事長) 佐藤達哉(渡邊)

欠席:岡田努(監事)

第 19 回大会準備委員長挨拶 第 19 回大会準備委員長 安藤寿康

報告事項

1 会員の異動に関して 事務局長 加藤 司 別紙のとおり、報告された。

2 各種委員会の事業報告および事業計画

別紙のとおり、活動が報告された。

サイエンス社 (「心理測定尺度集第5巻・第6巻」掲載予定)より「性格心理学研究」「パーソナリティ研究」10件の転載申込みがあり、承認された。

(2)経常的研究交流委員会 常任理事 二宮克美

別紙のとおり、活動が報告された。

(3) 広報委員会 常任理事 小塩真司

別紙のとおり、これまでの活動が報告された。

(4)国際交流委員会 常任理事 向田久美子

別紙のとおり、これまでの活動が報告された。

(5)学会活性化委員会 常任理事 藤田主一

別紙のとおり、これまでの活動が報告された。

(6)各種電子化検討小委員会 常任理事 中村 真

別紙のとおり、これまでの活動が報告された。

(7) その他 常任理事 二宮克美

各種委員会の任期に関して、二宮常任理事より、意見が出され、2年後に向けて明文化する必要性があるとの指摘があった。監査の視点からは、年度末にする必要があるのではないか(松田)。現在は、これまでに任期を引き継ぐことになった。

3 日本心理学諸学会連合に関して 理事長 浮谷秀一 これまでに理事会に関する概要が口頭で報告された。主に、国資格問題について報告された。

4 第 18 回大会報告 第 18 回大会委員長 寺崎正治 寺崎先生欠席のため、資料に基づき、理事長が代理報告した。

5 第20回大会開催校に関して 理事長 浮谷秀一

次回大会が、9月2日、3日に、日本感情心理学会と合同で、京都光華女子大学で行われることが報告された。合同大会では、2日、3日は日本パーソナリティ心理学会大会、3日、4日は日本感情心理学会大会、しかし、ポスター発表は合同で9月4日に行う。総会は3日の昼に行う予定であることが報告された。合同理事会は9月1日に実施する。

6 その他

(1)「パーソナリティ心理学ハンドブック改訂版」(案) 副理事長 堀毛一也

前回の常任理事会で予告した通り、「性格心理学ハンドブック」の改訂版の概要が報告された。名称に関して、「パーソナリティ心理学ハンドブック」とした。

(2) その他

なし

## 審議事項

1 2009年度決算に関して

常任理事

山崎晴美

監事

松田浩平

監査より問題ないことが報告された。提案どおり承認され、総会で審議されることになった。

2 2010年度予算に関して

常仟理事

山崎晴美

提案どおり承認され、総会で審議されることになった。本来は、2011年の予算を審議するのが正しい手続きではないか(松田)。暫定予算の執行に関して、会員には連絡すべきである(青柳)。

- 3 その他
- (1)日本パーソナリティ心理学会第98回常任理事会議事録(案)が承認された。
- (2)新入会希望者

一般会員:松田博子、福島裕人、院生会員:大西恭子、橋口誠志郎、沖秀信、井筒しのぶ、が追認された(すでにML会議で承認されている)。

(3)「パーソナリティ心理学ハンドブック」への助成

理事長より、パーソナリティ心理学ハンドブックへの助成を検討していることが報告され、承認された。

(4)次々回大会

第21回大会を島根大学で開催を予定していることが、理事長から報告され、承認された。

(5)

第20回大会準備委員会委員長挨拶

第20回大会準備委員長 荘厳舜哉

本日欠席のため、理事長より説明がなされた。

報告された資料は、部分的に修正したうえ、翌日の総会で配布された。

次回常任理事会は、2月5日、東洋大学で15:00から開催される予定である。